



じしん 地震のとき、^{だんそう}断層はどのように^{うご}動くの

^{ちひょう}地表に^{あらわ}現れる^{だんそう}断層もある

^ち地下では、いろいろな^{ほうこう}方向から、^{ちそう}地層をおす^{ちから}力がはたらいていて、^{たも}つりあい^{たも}が保たれて
います。しかし、何かの^な力が^{ちから}加わり、^{くわ}つりあいが^{くず}くずれると、^{ちそう}地層の一部が^いずれて、^{ちそう}地層が
^くくいちがって^ししまいます。この^くくいちがいを、^{だんそう}断層とい^いいます。

^{だんそう}断層は、^{じしん}地震が^お起こるときに^{でき}できます。^{だんそう}断層は、^ちふつう、^{ちか}地下の^{ふか}深い^{ところ}所に^{でき}できますが、^{おお}大
^ききな^{じしん}地震の^{とき}ときには、^{ちひょう}地表にも^{あらわ}現れます。^{さいきん}最近^お起こった、^{ひょうご}兵庫県^{なんぶ}南部^{じしん}地震^{はんしん}（^{あわ}阪神・^{あわ}淡路^{だいしんさい}大震災）
の^{とき}ときは、^{だんそう}断層が^{あわ}淡路島の^{ちひょう}地表に^{あらわ}現れました。

^{だんそう}断層に^{しゆるい}3つの^{しゆるい}種類がある

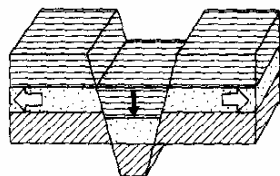
^{ちそう}地層に、^ひ引っ張り^{あう}あう^{ちから}力がはたらき、^{たえ}たえられ^ななくなって、^{いちぶ}一部が^{した}下に^お落ちるときに、^{じしん}地震
が^お起こります。この^{だんそう}断層を^{せいだんそう}正断層とい^いいます。

^{ちそう}地層に、^おおしあう^{ちから}力がはたらき、^{たえ}たえられ^ななくなって、^わ割れ目^めができる^{とき}ときには、^{いっぽう}一方が
は^あね上がる^たために、^{じしん}地震が^お起こります。この^{だんそう}断層を^{ぎやくだんそう}逆断層とい^いいます。

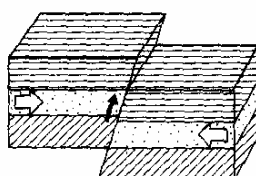
^{ちそう}地層に、^{すいへい}水平方向^{ちから}の力がはたらき、^{たえ}たえられ^ななくなった^{とき}ときには、^{よこむ}横向き^にずれる^たため
に、^{じしん}地震が^お起こります。この^{だんそう}断層を^{よこ}横ずれ^{だんそう}断層とい^いいます。

しかし、^{じっさい}実際^みに見られる^{だんそう}断層は、^{せいだんそう}正断層^{ぎやくだんそう}や^{よこ}逆断層^{だんそう}に、^{よこ}横ずれ^{だんそう}断層^{くわ}が^あ加わった^{もの}ものが、^{おほ}多い
ようです。（^{かんしゆ}監修・^{くに}国司 ^{まこと}真）

正断層



逆断層



横ずれ断層

